

会報 こぶし

北陸電波学校
北陸電波専門学校
北陸電波高等学校
金沢工業大学附属高等学校
金沢工業高等専門学校
国際高等専門学校
金沢工業大学

VOL.
70
2022.7

新しい同窓会活動を模索 第13回こぶし会総会を開催

学びも遊びも全力!

国際高等専門学校

高専ホームカミングデー
10月15日に開催!

[速報] 学園だより+

NHK学生ロボコン2022
金沢工業大学が準優勝

こぶし会事務局
多目的ホールが
配信スタジオにな
りました



こぶし会総会および三同窓会総会は令和4(2022)年6月18日、こぶし会多目的ホールにおいてインターネットを使った初のYouTubeライブ配信方式で開催され、新型コロナウイルス感染症後の新しい同窓会活動のあり方について検討することを確認しました。

アフターコロナ後の 同窓会活動を模索



「今年からは全国での支部活動も感染症への注意を払いながら対面による活動を再開する予定です」と話す松田会長



スマートフォンでも総会を視聴できました

第13回こぶし会総会では、初めに松田真一会長(大学・情報・昭和50年卒)が「以前のような同窓会活動ができる日が来ると信じております。今後とも皆さまのご支援、ご協力をお願いいたします」と挨拶しました。続いて学校法人金沢工業大学の泉屋吉郎理事長が「学生への手厚い支援には感謝しています。今後とも学園に関心を持ってほしい」と祝辞を述べました。

大山光則氏(大学・居住環境・平成16年卒)を議長に選任した後、令和3

(2021)年度の事業報告と決算報告および令和4(2022)年度の事業計画と予算が報告されました。また、「こぶし会会則の改正」を一部変更したほか、役員改選で松田会長を再任したほか、新たに副会長1人と理事1人、監事1人を選任しました。

舵取りを任された松田会長は「社会の変化とともに、我々も変わっていく必要があります。次回の総会ではぜひ皆様とお会いして親睦を深めたいと思います」と語りました。

〔こぶし会役員一覧〕 ※は新任役員

■ 名誉会長

黒田 壽二 (保二会・電波専・昭和35年卒
大学・電気・昭和44年卒)

■ 名誉副会長

神 亮一 (保二会・電波高・昭和37年卒)

■ 相談役

大澤 敏 (大学学長)
ルイス・パークスデール (高専校長)

■ 会長

松田 真一 (大学・情報・昭和50年卒)

■ 副会長

中野 忠史 (保二会・電波高・昭和38年卒)
野中 正樹 (高専・機械・昭和49年卒)
※ 古橋 孝実 (大学・建築・平成8年卒)

■ 理事

水野 四郎 (保二会・電波高・昭和39年卒)
中橋 勝美 (保二会・附属高・昭和41年卒)
西谷 隆司 (高専・電気・昭和53年卒)
北山 博 (高専・電気・昭和59年卒)
中田 政之 (大学・機械・昭和61年卒)
藤井 弘史 (大学・電子・昭和56年卒)
高木 由次 (大学・経営・昭和50年卒)
※ 石富 智宏 (大学・土木・平成元年卒)
加原 智彦 (大学・情報・平成7年卒)
村井 宜延 (大学・心理・平成22年卒)
伊勢 陽一 (大学・土木・昭和51年卒)
中村 幸蔵 (大学・電子・昭和63年卒)
波多野 篤志 (大学・土木・昭和60年卒)
阪口 龍平 (大学・建築・昭和53年卒)
烏谷 伸 (大学・土木・昭和51年卒)
橋口 芳仁 (大学・土木・昭和47年卒)
百万 光生 (大学・経営・昭和51年卒)

寺田 正人 (大学・土木・昭和54年卒)
早川 義造 (高専・電気・昭和43年卒)
源野 統夫 (大学・建築・平成2年卒)
谷口 孝一 (校友会事務局)

■ 監事

※ 織田 正裕 (保二会・電波高・昭和38年卒)
釜戸 吉一 (高専・電気・昭和49年卒)
太田 詩朗 (大学・機械システム・平成7年卒)

■ 参与

川向 義朗 (大学・経営・昭和48年卒)
野村 外茂雄 (高専・電気・昭和44年卒)

学園の基礎を築く思い出を集めた冊子を編集

「会員の皆さんは健康に留意していただき、積極的に活動に参加してほしい」と語る中野会長

令和4(2022)年度保二会総会は6月18日午前10時から開催されました。

総会では中野忠史会長(電波高・昭和38年卒)が「保二会は昭和42(1967)に発足して55年になります。我々が金沢工大学園の基礎を成してきたことを忘れず、これからも発展に寄与していきたい」と挨拶しました。

引き続き、本裕一氏(附属高・昭和46年卒)を議長に選び議案審議に移

り、中橋勝美氏(附属高・昭和41年卒)から令和3(2021)年度の事業報告と決算報告、令和4(2022)年度の事業計画ならびに予算が報告され、金森洋三氏(電波高・昭和39年卒)が会則の改正説明ならびに新任の役員を紹介しました。

再任された中野忠史会長は「現在、学校の歴史や思い出を掲載する冊子の編集を行っており、来年度の完成を



目指しています。ぜひお手元にある思い出の品物などの編集資料をお寄せください」と述べました。

金沢国際高専同窓会総会

会員同士の意思疎通を 中身の濃い活動を実施

第16回金沢国際高専同窓会総会は6月18日午前10時30分から開催されました。

総会では野中正樹会長(機械・昭和49年卒)が「新型コロナウイルス感染症の影響によって、かなり不自由な活動を余儀なくされておりました。社会は少しずつ正常に戻りつつあり、同窓会の一層の意思疎通を図っていききたい」と挨拶しました。続いて国際高専のルイス・バークスデール校長が祝辞を述べました。

この後、織田一彦氏(機械・平成元年卒)を議長に選びました。西谷隆司氏(電気・昭和53年卒)が令和3(2021)年度の事業報告と決算報告、令和4(2022)年度の事業計画ならびに予算について説明しました。また、北山博氏(電気・昭和59年卒)が新任の役員を紹介しました。再任された野

中会長は「今後は、より中身の濃い活動を実施したいと考えておりますので、ぜひ行事に参加してください」と述べました。



動画配信は分刻みのタイムスケジュールでした

金沢工業大学同窓会総会

新会長に古橋孝実氏(建築・平成8年卒) 参加しやすい体制づくりを

第23回金沢工業大学総会は6月18日、こぶし会多目的ホールで動画をライブ配信して開かれました。

総会では、4期12年務めた殿村和也会長(土木・昭和57年卒)が「大学にとって同窓会はどのような組織なのか。同窓会にとって大学はどのような存在なのか。その存在意義を絶えず考え、一人一人の会員が意見を述べる事ができる風通しのいい組織であってほしい」と退任の挨拶をしました。続いて大澤敏学長が祝辞を述べました。

この後、源野統夫氏(建築・平成2年卒)を議長に選び、松尾多郎氏(電子・昭和53年卒)が令和3(2021)年度の事業報告と決算報告、小松義明氏(情報・平成22年卒)が令和4(2022)年度の事業計画と予算などについて報告しました。

松尾氏が新役員を紹介し、古橋孝実氏が新会長に選ば

れました。古橋新会長は「会の発展には多くの方の協力が必要であり、同窓生が参加しやすい体制を確立していきたい」と述べました。



「場所や学科を超えたコミュニティのあり方を考えたい」と話す古橋新会長

初めての動画配信、議案の賛否を集計。

事前決議のため、全ての会員に対し、議案の賛否を問うはがきをお送りしました。連日、届くはがきをチェックし、夜遅くまで集計する作業を行いました。



人とのつながりは人生の宝

金沢工業大学同窓会 新会長

古橋孝実 氏 (大学・建築・平成8年卒)

この度、大学同窓会会長に就任いたしました。その重責に身の引き締まる思いです。

コロナ禍を経験した私たちは、ライフスタイルや働き方が大きく変わりました。そのような中で同窓会のあり方も変わっていく必要があると考えています。

オンラインやSNSが普及したことにより、時間と場所を超えてコミュニケーションを取ることが可能となりました。このようなツールを活用することで、従来の同窓会にはなかった交流ができるのではないのでしょうか。

交流する上で最も大事なものは「参加しやすさ」です。誰でもイベントにも運営にも携われる風通しのいい同窓会を目指していきたいと思えます。

全国どこにいても、同窓生という

だけで親近感が生まれるものです。このような縁をつないでいくことが同窓会のあるべき姿でしょう。人とのつながりは一生の宝です。その橋渡しをしていければ幸いです。



殿村和也氏が退任

(大学・土木・昭和57年卒)



一会員として同窓会に貢献

8代目の会長に就任し、4期12年会長職を務めてまいりました。今回、後進に道を譲ることとし、会長職を退任させていただきます。在任中には多分なご厚情とご支援を賜り、深く御礼申し上げます。本来ならば総会で皆さまに直接お会いして報告させていただくところですが誌面でのご報告となったこととお詫び申し上げます。

同窓会活動に誘われて20数年。任期中の思い出としては、支部委員として各県の支部の立ち上げに関わったほか、平成30(2018)年には大学に協力して、第1回ホームカミングデー、卒業して50年が経つ卒業生をお迎えしてお祝いするセレモニーに出席でき、感動しました。

これからも一会員として母校と同窓会の発展を願い、微力ながら貢献してまいりますので今後ともよろしくお願い致します。

こぶし会

新会員の加入で78,776人に 高専・大学で同窓会入会式



モニターで中継された
大学同窓会幹事代表
の荒木仁斗さん



高専同窓会の入会式の様子

令和4(2022)年の入会式が、高専同窓会は3月2日、大学同窓会は3月15日にそれぞれ行われ、これからの同窓会を担う新会員が加入しました。

卒業式後に行われた入会式では、野中正樹高専同窓会会長と殿村和也大学同窓会会長がそれぞれ「今後の皆さんの活躍に期待します。ぜひ気軽に同窓会活動に参加してください」と歓迎と激励

の言葉を贈りました。

幹事代表として大学は荒木仁斗さん(ロボティクス学科)が「私たちは各人が持つ力を遺憾なく発揮し、会の発展に寄与いたします」と力強く入会の詞を読み上げ、高専は同窓会幹事6人を選びました。

今年の新会員は、高専同窓会が69人、大学同窓会が1,409人で、こぶし会の会員数は78,776人となりました。

5年ぶりに開催へ

同窓のつどい

新型コロナウイルス感染症の影響で延期しておりました「同窓のつどい」を令和4(2022)年9月3日に開催する予定です。感染症の状況によっては中止となる場合もありますので、ご了承ください。

保二会では、昭和32(1957)年の北陸電波学校開校から昭和48(1973)年の金沢工業大

学附属高校閉校までの16年間で学んだ保二会会員を対象に「同窓のつどい」を実施しており、実現すれば5年ぶりの開催となります。



前回開催された「同窓のつどい」の様子

同窓のつどい

- 日時 令和4(2022)年9月3日(土)
- 場所 テルメ金沢

●申し込み

こぶし会事務局(TEL:076-294-6375)までお申し込みください。

4年ぶりに交流会を開催

令和4(2022)年度総会および交流会

機扇会では、3年に一度の総会および年1回の交流会を開催しております。令和元(2019)年度以来、コロナ禍の影響で交流会の



開催が実現していませんでしたが、今回、感染防止に十分に配慮し、右記の通り、総会および交流会を開催いたします。なお、感染状況によっては、スケジュールの変更や延期、中止の可能性があることをご了承ください。皆さんの参加をお待ちしております。

同窓生との再会を楽しみませんか

令和4(2022)年度総会および交流会

- 日時 令和4(2022)年10月15日(土)午後
- 場所 金沢工業大学扇が丘キャンパス
(オンラインシステムを併用したハイブリッド開催を予定)
- 参加費 無料
- 申し込み

右記のQRコードよりゲルフォームにアクセスして、以下の情報をご入力ください。

- ①お名前、②卒業年、③卒業学科、④連絡先
- ⑤総会ご出欠、⑥特別講演ご出欠、⑦その他



交流会では特別講演を予定しています。詳細については、決まり次第、ゲルフォーム上でご案内いたします。なお、交流会では、感染防止の観点から飲食の用意は行いません。ご了承のほど、よろしく願いいたします。

オンラインで開催

令和3(2021)年度入会式

令和3(2021)年度入会式は、令和4(2022)年2月15日、新会員や先生方など118人参加し、オンラインで開催されました。

最初に荻田幸男琥睦会会長が「同窓会への入会を歓迎します。末永いお付き合いをお願いいたします」と話し、殿村和也金沢工業大学同窓会会長、電気電子工学

科主任の山口敦史教授が卒業生に対し、はなむけや激励の言葉を述べました。

新会員を代表して高松駿さん(大澤研究室)が入会を宣言し、新幹事に選ばれた瓜優磨さん(津田研究室)、房崎慎平さん(野口研究室)、勝田康文さん(島内研究室)、酒井亮さん(池永研究室)を紹介しました。

令和4(2022)年9月17日(土)に総会

総会を3年ぶりに開催いたします。感染症対策の観点から懇親会は中止します。

- 日時 令和4(2022)年9月17日(土)15時～
- 場所 ホテル金沢
遠隔開催に変更する場合がありますので参加申込者には追って連絡します。
- 申し込み
お名前とご住所をお書き添えのうえ、下記のアドレスへご連絡ください。
sokai@kobokukai.net

ながつき会 土木工学科・環境土木工学科

卒業生の前途を祝す

令和3(2021)年度入会式

令和3(2021)年度入会式は、令和4(2022)年2月14日に開かれました。毎年、プロジェクトデザインⅢ発表会の後に、学部の卒業のお祝いと激励を兼ねて実施されています。今年は新型コロナウイルス感染症の拡大防止として、オンラインで実施しました。

入会式では、橋場正明ながつき会会長が「金沢工業大学の卒業生として、社会での活躍を期待しています」とあいさつしました。また、殿村和也金沢工業大学同窓会会長がはなむけの言葉を贈り、大学同窓会の組織やながつき会の由来なども説明しました。



橋場正明ながつき会会長



殿村和也大学同窓会会長

ゴルフ大会

- 日時 令和4(2022)年9月10日(土) 10:09スタート
- 場所 ゴルフクラブ ツインフィールズ ダイヤモンドコース
〒923-0062 石川県小松市里川町1番地
TEL.0761-47-4500
- 会費 3,000円

第10回ながつき会総会

- 日時 令和4(2022)年10月15日(土) 13:00～
- 場所 金沢工業大学扇が丘キャンパス
- 申し込み
こぶし会ウェブサイトからお願いいたします。

けいこうかい 経工会

経営工学科・経営情報工学科・情報マネジメント学科・情報経営学科・経営情報学科

里見和彦幹事(昭和57年卒)が講演

第39回夏の異業種交流会

第39回夏の異業種交流会をオンラインと対面のハイブリッドで開催いたします。里見幹事が「明治初年に成立した大名」と題して講演します。異業種交流会はこぶし会会員ならどなたでも参加できますので、ぜひお申し込みください。



学科などの垣根を超えて参加者が集まります

第39回夏の異業種交流会

- 日時 令和4(2022)年8月27日(土)
10:00～受付
10:30～講演
- 場所 こぶし会多目的ホール及びオンライン
- 会費 無料
- 申し込み
経工会ウェブサイト及びこぶし会ウェブサイト参加フォームからお申し込みください。

せんしょうかい 扇翔会

情報処理工学科・情報工学科・メディア情報学科

10月15日(土)に開催

令和4(2022)年度総会

工大祭の開催に併せて、下記のように総会を開催いたします。今年は3年に1度の総会を行います(本来は昨年開催予定がコロナ禍で延期)。情報処理工学科、情報工学科、メディア情報学科の卒業生の皆さんの参加を心よりお待ちしております。

令和4(2022)年度総会

- 日時 令和4(2022)年10月15日(土)
- 場所 オンライン
- 申込締切 令和4(2022)年10月7日(金)
- 議題 収支決算及び事業報告について
役員、幹事の改選について
その他
- 申し込み
小松 義明(平成22年卒)
E-Mail:sensyokukai@m1list.kanazawa-it.ac.jp

オンラインのURLおよび時間の詳細はお申し込み時にご連絡いただくメールアドレス宛にご案内いたします。また、facebook(<https://www.facebook.com/sensyokukai>)でも開催のご案内をいたします。

6支部が支部総会を開催

こぶし会ウェブサイトで情報を随時発信

令和4(2022)年度の支部総会は、各支部の判断で実施することとなり、6支部が開催を決定しています。開催するかどうかの情報は、こぶし会ウェブサイト随時発信していきますので、チェックをお願いします。

【開催】

■青森支部	7月16日(土)
■秋田支部	7月30日(土)
■茨城支部	8月11日(木祝)
■福島支部	10月8日(土)
■岐阜支部(岐阜)	8月6日(土)
■京都支部(京都)	9月10日(土)

【中止】

新潟支部、岐阜支部(高山)、静岡支部(静岡・浜松)、京都支部(福知山・舞鶴)、岡山支部、愛媛支部、鹿児島支部

6月14日現在

支部長からの便り Part.3

卒業生の皆さん、徐々に日常に戻っていますか。しばらく顔を合わせてない支部の会員に向けて各支部長からのメッセージを送ります。

支部長のコメントはこぶし会ウェブサイトにも掲載しています →



新潟支部

山岸 栄一 (大学・建築・昭和62年卒)

令和4(2022)年度は、もうしばらく我慢が続くと思います。来年度こそ一人でも多くの会員の方々に支部総会に参加していただけるよう準備を進めています。コロナ禍であるがゆえに、家族や会社など身近なコミュニティーを大事にしてください。

富山支部

西田 康博 (大学・電気・昭和52年卒)

新型コロナウイルス感染症の感染状況を見ながら、支部総会や全国一斉ボウリング大会のイベントを計画したいと思っておりますので、ぜひ参加してください。今後は会員相互の企業情報交換の場や地域のボランティア活動に取り組みたいです。

高岡支部

水上 浩典 (大学・情報・昭和60年卒)

現在、活動全体が休止している状況です。ただ、少しずつ社会情勢が改善していることから、ゴルフなどアウトドアでの交流から開始できないかを検討しています。会員の皆さんが交流できる日は近いと感じており、今しばらくお待ちください。

福井支部

浮田 隆之 (大学・電気・昭和58年卒)

できれば今年は支部総会を開催したいと思っており、会員の皆さんとはずっと会っていませんので元気な顔がみたいです。来年はキャンパス見学ツアーを開催し、やつかほりサーチキャンパスや白山麓キャンパスを見てみたいですね。

岐阜支部

波多野 篤志 (大学・土木・昭和60年卒)

早期に支部総会や全国一斉ボウリング大会を開催したいです。これまで岐阜地区、高山地区の2会場で開催していましたが、今年は岐阜地区だけとし、来年から2会場に戻します。今後はオンラインで交流できる環境を整えます。

静岡支部

勝又 宏幸 (大学・建築・平成2年卒)

残念ながら今年の支部総会の開催は見送ります。このような状況でも交流ができるようオンラインなどで情報共有できる方法を検討します。2年間のブランクがありますが、交流が拡大できるよう頑張っていきたいと思っております。

愛知支部

渡瀬 正人 (大学・機械・平成11年卒)

今年度の活動の予定はありませんが、11月にゴルフ大会を開催できないか打ち合わせています。これからの支部総会は、対面とオンラインでの実施を考えています。これまで参加していただけなかった遠方の会員の皆さんもぜひ参加してください。

三重支部

渡辺 味 (大学・機械・昭和54年卒)

現在は、会員の皆さんと全く会う機会がありませんので、とても寂しいと感じています。感染症が落ち着けば懇親会を開催したいですね。会えるのが楽しみです。学生時代の短い期間のつながりを、同窓会で深めていってもらえればと考えています。

国際高等専門学校

学びも遊びも全力!

国際高等専門学校は平成30(2018)年4月、グローバルイノベーターの輩出を目的とした全く新しい高等専門学校としてスタートしました。国内外から学生が集まり、グローバルな環境で成長する学生と教育システムを紹介します。

3つの特色ある教育

国際高専の使命は、未来を創造する理工系人材の育成です。特色ある教育としては、サイエンスとテクノロジーの知識を応用してイノベーション創出に取り組む“エンジニアリングデザイン教育”、3年生の“ニュージーランド留学”、そして、サイエンスや数学を英語で学ぶ“English STEM教育”です。

エンジニアリングデザイン教育では、デザインシンキングの手法による、ユーザーへの共感によって「何が問題で何を解決すべきか」を考え、アイデアをカタチにしていきます。ニュージーランド留学では、世界中から集まる学生と共に学ぶことで、学生の可能性を最大限に引き出し、大きく飛躍するきっかけをつくります。また、English STEM教育は、英語で科学、技術、工学、数学を統合して学び、理工学的思考力を身に付けます。



特色ある教育① エンジニアリングデザイン教育

白山麓のリアル課題に取り組む

キャンパス内のメーカースタジオにあるレーザーカッターや3Dプリンターを使って具体化しながら、よりよい解決策を考えます。1、2年生は校舎が立地する白山麓のリアル課題に取り組み、AIやロボティクス、ビジネスの知識を社会実装して検証していけるのも大きな魅力です。



価値を創造できる スキルを獲得

エンジニアリングデザイン教育によって、学生たちはさまざまな課題に直面し、自ら解決策を考え出すことで、大きな成長を遂げます。そういった経験を経て、価値を創造できるスキルを獲得します。

この白山麓には、題材となるテーマがたくさんあり、地域の方との交流も学習の一貫となっていると言えます。

松下 臣仁 教授



学習意欲を高め、国際感覚を磨く

国際高専に入学する学生には、ニュージーランド留学を目的とする学生も少なくありません。3年生は全員がニュ

ージーランド・ダニーデン市にある国立オタゴポリテクニクへ留学し、世界中から若者が集まる環境で学びます。現地での生活は地元の家庭にホームステイし、企業でのインターンシップやプロジェクト活動などさまざまなプログラムが



準備されています。オタゴポリテクニクには、約4000人の学生が在籍し、世界27カ国から約230人の留学生が学んでいます。

※新型コロナウイルス感染症のため、令和2(2020)年、令和3(2021)年のニュージーランド留学はリモートで実施されました。写真は金沢高専時代の留学生のスナップです。

岩本 拓也さん

高専・国際コミュニケーション学科・平成21年卒
大学・メディア情報学科・平成23年卒
勤務先：株式会社サイバーエージェント(東京都)



留学経験者に聞きました。

自ら挑戦できる心を養う

ニュージーランド留学があったから高専に進学しました。周囲に英語に親しんだ人がいたことから、漠然と英語を勉強しないといけな

いのかなと思っていました。そんな気持ちが明確に「勉強したい」に変わったのが、ニュージーランド留学でした。
英語が分からなくても楽しかった印象しかなく、ホストファミリーや学校は、優しく受け入れてくれました。話したい気持ちから勉強する意識が変わり、TOEICは400点以上伸びまし

たね。英語で技術を学ぶという習慣が身に付いたことは大きく、IT技術の最新情報は英語で配信されるので、日本語に訳されるまでの時間的ロスがなくなったのは、仕事において大いに役立っています。

現在、大阪大学に出向し、人とコミュニケーションを図るロボットの研究に取り組んでいます。例えば、店舗で接客するロボットでは、多くの機能を盛り込むのではなく、ユーザーの行動を限定することで、利便性を高めており、早

期の社会実装を目指しています。

このような研究は困難なことも多いですが、学校で未経験なことにチャレンジしたことで、自ら挑戦できる心を養うことができました。

こういうカリキュラムの学校は少ないと思います。世界に挑むことができる機会があり、そういう人生を選ばないのはもったいない気がします。石川県から技術と英語で勝負できる人材が生まれてほしいですね。

特色ある教育③

English STEM教育

世界標準の教育を実施

世界で最も話されている言語が英語で、近年、世界では英語によるSTEM教育が重視されています。英語を使いながら、Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学)、

Mathematics(数学)を学習するというメリットは計り知れないものがあり、探求型学習のSTEMを学ぶことで、自然にクリティカルシンキングの能力や問題解決力が身に付いていきます。



ブランドン・ウォルファース講師

英語とSTEMを頭の中でうまくリンクさせるため、日本人が外国人講師をバックアップするシステムは、有効だと考えています。



ポーリン・ベアード教授

学生の将来を開くのも閉じるのも、私たち教師にかかっています。一人一人の学生に真摯に向かい、情熱を持って接しています。

Teachers Voice



Students Voice

— 2年生に聞きました —



エネルギーの 専門家に

草本留嘉寿さん
(長野県出身)

元々、勉強は好きなタイプではありませんでしたが、プログラミングなど学ぶうちに、面白さに気づかされました。先生が1対1で教えてくれますので、理解も深まります。これからは環境に配慮したエネルギーの需要が高まりますので、その分野のスペシャリストになります。

エンジニアの 夢へ前進

セルゲレン・サンサルさん
(モンゴル・ウランバートル出身)

コロナ禍で1年間、入国できなくてリモート授業を受けてきましたので、実際に日本に来られた時はうれしかったですね。想像以上に先生や設備が素晴らしいです。この学校なら、数学や科学など全てを理解したエンジニアになるという夢をかなえられそうです。



医療機器の 道を目指す

三輪恵万さん
(愛知県出身)

英語で勉強するという環境が新鮮に感じました。この学校を選んだのは、留学ができることです。将来、医療機器の製造に携わりたいという希望があります。医療機器メーカーは外資系が多く、英語は必須です。ここでならその道筋が描けると思います。

授業は 自分たちの手で

柿田紗蘭さん
(石川県出身)

先生に指示されるのではなく自分たちの手によって授業が進んでいくのが楽しいですね。この学校には、いろんな考えの人がいますので、自分の信念や意見をはっきり持つようになりました。ここでは絵を描くことも挑戦であり、いろんなことに興味を持っていきたいですね。



学生の生活をウォッチ! 国際高専の学生が実際にどんな生活をしているのかを紹介します。



学生寮

社会性と人間力を養う

学生生活の拠点です。1、2年生が6人1組で共同生活を送っており、リビングや洗面台、トイレ、シャワーが共用となっています。共同生活によって社会性と人間力が養われます。

ライブラリー&ワークcommons

吹き抜けの開放的なスペース

2つのワーキングスペースがある吹き抜けの開放的な空間が印象的です。図書スペースで本を探したり、ゆったりとソファに座りながら思索にふけったりすることもできます。



リビングcommons

生活と学習をつなぐ空間

地元の木材を使った学びとくつろぎの空間です。授業の合間に休憩したり、学生同士で課題に対して意見を交わしたりするなど、生活と学習をつなぐ役割を果たしています。

カフェテリア

バラエティーに富んだ食事

食事は朝昼晩の3食を用意します。毎日、趣向を凝らしたメニューが並ぶので、食事が楽しみという学生も少なくありません。宗教やアレルギーにも対応しています。



ラーニングセッション \ 夜は学生同士で学び合う /

月曜日から金曜日までの午後7時30分から午後9時30分までの2時間、学生同士が教え合うラーニングセッションが行われます。ラーニングメンターと呼ばれる教員が学生たちにアドバイスを
行います。共通の課題を一緒に解くことで、自習では得られない知識を獲得
します。



仮想現実でキャンパス体感

国際高専ウェブサイトでは、令和4(2022)年4月から「バーチャル・キャンパスツアー」と題して、白山麓キャンパスを3Dバーチャルリアリティで体感できます。ぜひウェブサイトをご覧ください。





こぶし会 会計報告

令和3年度 保二会決算書

■収入の部 R.3/4/1-R.4/3/31		
大科目	中科目	決算額 (円)
活動費収入	活動費収入	36,492
繰越金収入	繰越金収入	0
合 計		36,492

■支出の部		
大科目	中科目	決算額 (円)
経常費	事務局費	36,492
繰越金	繰越金	0
合 計		36,492

令和4年度 保二会予算書

■収入の部 R.4/4/1-R.5/3/31		
大科目	中科目	予算額 (円)
活動費収入	活動費収入	1,134,000
繰越金収入	繰越金収入	0
合 計		1,134,000

■支出の部		
大科目	中科目	予算額 (円)
経常費	事務局費	170,000
助成費	助成費	934,000
慶弔費	慶弔費	30,000
合 計		1,134,000

令和3年度 こぶし会決算書

■収入の部 R.3/4/1-R.4/3/31		
大科目	中科目	決算額 (円)
会費収入	正会員会費収入	44,100,000
	維持会費収入	3,574,000
基本財産運用収入	基本財産運用収入	4,874,751
雑収入	預金利息収入	464
	その他の収入	3,515,500
繰越金収入	繰越金収入	47,175,111
合 計		103,239,826

■支出の部		
大科目	中科目	決算額 (円)
経常費	事務局費	516,677
事業費	会報費	19,162,495
	支部費	2,222,338
	企画費	888,073
同窓会助成費	保二会	36,492
	高専同窓会	23,003
	大学同窓会	2,284,829
積立基金	積立基金	30,000,000
繰越金	繰越金	48,105,919
合 計		103,239,826

令和3年度 金沢国際高専同窓会決算書

■収入の部 R.3/4/1-R.4/3/31		
大科目	中科目	決算額 (円)
活動費収入	活動費収入	23,003
繰越金収入	繰越金収入	0
合 計		23,003

■支出の部		
大科目	中科目	決算額 (円)
経常費	事務局費	23,003
繰越金	繰越金	0
合 計		23,003

令和4年度 金沢国際高専同窓会予算書

■収入の部 R.4/4/1-R.5/3/31		
大科目	中科目	予算額 (円)
活動費収入	活動費収入	1,017,000
繰越金収入	繰越金収入	0
合 計		1,017,000

■支出の部		
大科目	中科目	予算額 (円)
経常費	事務局費	787,000
助成費	助成費	200,000
慶弔費	慶弔費	30,000
合 計		1,017,000

令和4年度 こぶし会予算書

■収入の部 R.4/4/1-R.5/3/31		
大科目	中科目	予算額 (円)
会費収入	正会員会費収入	46,470,000
	維持会費収入	3,888,000
基本財産運用収入	基本財産運用収入	3,483,000
雑収入	預金利息収入	1,000
	その他収入	3,000,000
繰越金収入	繰越金	48,000,000
合 計		104,842,000

■支出の部		
大科目	中科目	予算額 (円)
経常費	事務局費	2,764,000
事業費	会報費	21,561,000
	支部費	17,081,000
	企画費	6,616,000
総会費	総会費	4,860,000
同窓会助成費	保二会	1,134,000
	高専同窓会	1,017,000
	大学同窓会	5,276,000
学生支援事業費	学生支援事業	100,000
予備費	予備費	44,433,000
合 計		104,842,000

令和3年度 金沢工業大学同窓会決算書

■収入の部 R.3/4/1-R.4/3/31		
大科目	中科目	決算額 (円)
活動費収入	活動費収入	2,284,829
繰越金収入	繰越金収入	0
合 計		2,284,829

■支出の部		
大科目	中科目	決算額 (円)
経常費	事務局費	277,921
助成費	学科助成費	201,510
	在学生助成費	1,805,398
	事業助成費	0
繰越金	繰越金	0
合 計		2,284,829

令和4年度 金沢工業大学同窓会予算書

■収入の部 R.4/4/1-R.5/3/31		
大科目	中科目	予算額 (円)
活動費収入	活動費収入	5,276,000
繰越金収入	繰越金収入	0
合 計		5,276,000

■支出の部		
大科目	中科目	予算額 (円)
経常費	事務局費	548,000
助成費	学科助成費	1,913,000
	在学生助成費	1,880,000
	事業助成費	900,000
慶弔費	慶弔費	35,000
合 計		5,276,000

金沢国際高専同窓会

ホームカミングデーを開催!

令和4(2022)年
10月15日(土)

受付時間
11:00~14:00

この機会に
白山麓キャンパスに
お越しください。

金沢国際高専同窓会は10月15日に、白山麓キャンパスでホームカミングデーを開催します。母校について語り合う絶好の機会ですので、多くの卒業生のご来場をお待ちしております。

高専同窓会では、高専祭に併せて、ホームカミングデーを実施する予定です。コロナ禍の状況ははまだ予断を許しませんが、対面形式のイベントを開催することにいたしました。会場は白山麓キャンパスになりますが、皆さんに足を運んでいただき、キャンパス見学を含め、学生時代の思い出に花を咲かせてみませんか。

お問い合わせ ▶ こぶし会事務局 まで



PLUS
学園

新たな学生生活の第一歩

金沢工大学園に 1,872 人が入学

学園の令和 4 (2022) 年度入学式が 3 月 27 日 (虎ノ門キャンパス大学院)、4 月 1 日 (高専・大学) にそれぞれ開かれ、高専 17 人、大学 1,614 人、大学院 210 人、虎ノ門キャンパス 31 人が、希望を胸に学生生活への第一歩を踏み出しました。

高専入学式では、ルイス・パークス デール校長が式辞を述べ、「自らの学びをコントロールし、失敗を恐れずに

困難に立ち向かうチャンスを逃さないでほしい」と激励しました。

大学入学式では、大澤敏学長が「本学の教育目標である『自ら考え行動する技術者』として成長するための基礎を一緒に築いていきましょう」と式辞を述べました。また、新入生を代表して松本莉知花さん (情報工学科) が「新入生は宣言に掲げる行動規範を厳守します」と力強く宣誓し、今年度の特別

奨学生を代表して延命弘太さん (メディア情報学科) にリーダーシップアワード生証が授与されました。



学部新入生を代表して宣誓する松本莉知花さん

PLUS
大学

速報!! 夢考房チームが準優勝

夢考房ロボットプロジェクトの「Team_Robocon」が令和 4 (2022) 年 6 月 12 日、東京都の大田区総合体育館で行われた「NHK 学生ロボコン 2022

～ABU アジア・太平洋ロボコン代表選考会～」において準優勝を果たしました。

会報こぶしとこぶし会ウェブサイトで2問を出題

クイズの学園 VOL 21

会報こぶしとこぶし会ウェブサイトが連動して、クイズを出題します。応募するにはそれぞれの答えが必要ですので、注意してください。

第1問 会報こぶし (70号) からの出題

? 国際●●●●●学校
誌面の中から当てはまる言葉を探してください。

第2問は こぶし会 ウェブサイト で出題 →



■ 応募方法

同封しているインフォメーションカードに、会報こぶしとこぶし会ウェブサイトを出題されたクイズの答え2つを記入してお送りください。正解者の中から抽選で10名の方に3,000円分の図書カードをお送りします。なお、当選者の発表は賞品の発送を持って代えさせていただきます。



■ 締切

令和4(2022)年
10月3日(月)当日必着

■ 発表

正解は令和4(2022)年10月7日(金)にこぶし会ウェブサイト上で発表します。

こぶし会

検索

こぶし会設立40年の 星霜^{せいそう}を祝して

季節は文月を迎えましたが、こぶし会の皆様方には、益々、ご健勝にてご活躍のことと拝察申し上げます。

ご高承のように、昭和57(1982)年6月、保二会、高専同窓会、大学同窓会が大同団結して「こぶし会」が設立され、今年で記念すべき40年の星霜を重ねる節目を迎えることになりました。茲に、衷心より祝意を表する次第であります。そして、令和4(2022)年3月卒業された方々を新たに会員に迎え、こぶし会全体では78,776人を数え、活動する同窓会組織として着実に成長しつつあります。これも偏に卒業生の皆様方のご努力の賜物と敬意を表したいと思います。

本学園は、「工学アカデミア計画」の一環として数年前から「特別奨学事業」や「夢考房プロジェクト事業」に焦点を絞りながら学内外の委員から成る寄付金募集委員会を立ち上げ、積極的な活動を展開してきております。私も委員会活動として卒業生が経営する企業などへ表敬訪問し、学園に対する協力を依頼して参りました。最近の事例として、昨年9月、本学経営工学科を昭和46(1971)年3月に卒業された水越裕治氏が経営する(株)アクトリー(各種環境関連プラントの製造・販売)から、創業50周年の節目として本学に対し多額の寄付を賜りました。私どもの活動が将来有為の学生諸君の更なる成長を促す推進力となり得たことは喜ばしい限りであります。

次に、令和3(2021)年度に入り、新型コロナウイルスの影響下では

ありましたが、寄付金募集のご依頼を再開致しましたところ、令和4(2022)年3月末現在、前年度の231件から631件へと400件の飛躍的な増加となり、感謝申し上げます。

そこで、前会報69号に引き続いて令和3(2021)年10月1日～令和4(2022)年3月31日までに戴ったご支援やご協力にお応えするために、ご寄付を賜った方々のご芳名と、新たに卒業生が経営する会社名をそれぞれ五十音順に下記のように掲載させて戴き、重ねて感謝の意を表したいと思います。

寄付者名一覧

令和3年10月1日～令和4年3月31日(敬称略・五十音順)【**大学同窓会**】秋山恵一、飯田博之、石元裕一、伊藤茂和、伊藤康紘、井上幸治郎、今井潤、今村聡、岩本修介、遠藤昭市、大泉剛、大垣裕路、大武伸昭、大西嘉範、大濱拓郎、奥田敦司、奥村久美子、織田英也、柏野二郎、川岸秀子、川邊孝芳、木倉正明、岸本俊博、北村彰、北村和光、草刈利彦、黒田壽二、小林勉、坂井博紀、坂野信夫、崎本優、塩谷四月、滋野真、柴田浩伸、関恒男、千徳英一、橘寿一、田中良和、谷口勝則、田村崇、津田政明、富田元、中田孝幸、中野晶博、中村幸蔵、中村信一、新津良久、羽生田覚、瀨本佑典、飛田憲一、百万光生、藤原和也、前川峰範、前田正英、政谷敏子、松浦正人、松田貞雄、松田真一、松本正裕、水澤大輔、三宅唯人、宮崎康夫、



石川 憲一

特別奨学事業寄付金募集委員長
金沢工業大学名誉学長

宮村壽、村田稔、山岸敬広、山岸徹、山崎勝美、山田昇、吉川一彦、渡辺悦史、渡邊博之 【**高専同窓会**】泉屋利吉、刀祢利雄 【**保二会**】岩野雄楯、坂本努、中村勝三、福光憲征、吉本重幸(全111名うち匿名30名) 【**卒業生の経営による企業**】(株)アクトリー、(株)エリックス、(株)岡田商会、(株)KAZAM、(株)加藤カム技研、(株)ケイエスディ、小松パワートロン(株)、三光合成(株)、(株)滋賀山下、静和工業(株)、(株)タクミナ、タケダ機械(株)、長野ポンプ(株)、藤井建設(株)、松本建設(株)、(株)宮地組、(株)山岸建築設計事務所(全21企業うち匿名4企業)

茲で、令和3(2021)年度の寄付者に関しては、ご芳名を学園ホームページに掲載致してあります。

終わりに、新型コロナウイルスの終息も不透明ではありますが、本学園はこれからも「特別奨学事業」「夢考房プロジェクト事業」及び「教育研究」などの充実・発展を目指して活動を鋭意展開して参りますので、こぶし会の皆様方には何卒宜しくご理解とご支援をお願い申し上げます。

<特別会員>

平成25年 菊川 廣繁
(元大学教員)

令和4年 5月 坂井 文治郎
(元穴水湾自然学苑教員)

<正会員>

加統 彰
(大学・電気・H4)

川島 正
(大学・機械・S60)

池田 一弘
(高専・機械・S52)

石輪 光一郎
(大学・機械・R2)

井縫 幸利
(大学・機械・H3)

西田 勇
(大学・建築・S49)

高谷 佳樹
(大学・応用化学・H25)

本多 孝夫
(保二会・電波学・S35)

河野 勇造
(高専・機械・S46)

長谷 一郎
(大学・土木・S52)

平成25年12月 坪川 眞悟
(大学・機械・H8)

令和2年 村井 敏広
(大学・機械・S47)

2月 中島 正市
(保二会・附属校・S41)

9月 井澤 博司
(大学・機械・H2)

10月 山本 英樹
(大学・経営・S49)

令和3年 浅野 友彦
(大学・土木・H11)

藤山 善仁
(大学・電気・S48)

森田 敏博
(大学・電気・S54)

1月 田中 孝司
(大学・建築・S51)

土田 誠
(大学・機械・S51)

蓮野 正和
(大学・情報・H8)

小谷 一也
(大学・土木・S63)

4月 上田 浩
(高専・機械・S48)

鈴木 茂
(高専・電気・S47)

5月 中島 昭弘
(高専・機械・S51)

6月 森口 弘
(大学・土木・S55)

道越 黎司
(大学・メディア・R2)

和唐 雄二
(大学・建築・S52)

沖 茂和
(大学・機械・S62)

渡部 正樹
(大学・電子・S50)

7月 戸水 郷
(保二会・電波専・S35)

8月 川江 茂
(保二会・電波高・S39)

山田 秀人
(高専・電気・S49)

9月 糟谷 巖
(高専・電気・S47)

藤原 卓弥
(大学・機械・S54)

酒井 利昭
(大学・土木・S55)

岩野 雄楯
(保二会・電波専・S36)

10月 三村 好道
(大学・建築・S51)

宮本 克己
(大学・建築・S51)

11月 山城 一夫
(保二会・電波学・S32)

高寺 有三
(大学・機械・S54)

藤井 鉄也
(修士・建築・H13)

原 隆郭
(大学・機械・S62)

角納 築蔵
(大学・土木・S46)

沼口 昌美
(大学・電気・S52)

12月 廣瀬 禎史
(大学・機械・H10)

吉江 則雄
(大学・機械・S48)

三井倉 充
(大学・機械・S45)

酒井 喜義
(大学・電気・S47)

平松 英夫
(大学・電子・S55)

令和4年 1月 塩谷 孝
(保二会・電波高・S46)

中川 護
(保二会・電波高・S37)

絹川 誠一郎
(保二会・電波高・S39)

奥野 義憲
(保二会・電波高・S38)

小松 秀樹
(大学・建築・S50)

田崎 誠一
(大学・電子・S52)

定舎 良一
(高専・電気・S48)

2月 星加 正志
(大学・機械・S53)

3月 服部 真嘉
(保二会・電波専・S36)

佐々木 智
(高専・電気・S43)

4月 亀田 保明
(大学・電気・S54)

5月 木戸 勝
(大学・電子・S52)

加藤 孝敬
(大学・土木・H29)

稲部 純
(大学・土木・H7)

6月 松本 弘道
(大学・機械・S45)

竹内 章博
(大学・機械・S46)

大石 孝典
(大学・建築・S55)

ゆうけい じゅんぼう
幽経 淳峰氏
元穴水湾自然学苑講師 逝去

幽経淳峰氏が令和4(2022)年1月25日、病気のた
め逝去されました。85歳。幽経氏は昭和44(1969)
年4月から穴水湾自然学苑に勤務し、海洋活動など
の指導に当たりました。厳しくも優しい人柄は学生か
ら慕われました。



令和3(2021)年秋の叙勲、令和4(2022)年
春の褒章で次の方が受章されました。

旭日双光章(秋)

山崎 洋氏
元富山県酒造組合会長
(高専・電気・昭和42年卒)
(大学・電気・昭和44年卒)

黄綬褒章(春)

長野 幸浩氏
長野ポンプ(株)代表取締役
(高専・機械・昭和57年卒)
(大学・機械・昭和59年卒)

こぶし会事務局人事

こぶし会 事務局 部谷 直宏
(大学・土木・平成3年卒)



会員皆さま方に一人でも多く同窓会活動に関
心を持っていただき、参加いただけるようサポ
ートしていきます。学生時代の仲間と語り合う
機会を提供できるよう、努めてまいります。

皆さんの声をお寄せください!

会報委員会では、「こんな特集が読みたい」など会員の皆さんのご意見、ご要望を『会報
こぶし』の制作に反映させていただきますので、事務局までお寄せください。また、連絡が取れ
なくなっていた卒業生の情報がわかりましたらお知らせください。

※インフォメーションカード、ホームページのお問い合わせ、こぶし会のE-mail等でお寄せください。

編集後記

◆金沢高専が国際高専としてスタートを切って5年目となります。令和3年度の卒業式で
は、金沢高専として入学した最後の卒業生が巣立ちました。来年からは国際高専に入
学した学生たちが卒業していきます。今回の特集では、その先進的な教育とともに学生
の生活の様子を紹介しました。国際高専で学んだ学生がグローバルな視点で社会を
変革し、未来を切り開いていくことを期待します。

◆今年の総会は、初めての試みとして、YouTubeライブ配信方式を採用しました。新型
コロナウイルス感染症のリスクを避けるためだったといえ、会員皆さんの顔を見られな
かったのは残念でした。ただ、今年は、感染症の状況を見ながら、こぶし祭や全国一斉ボ
ウリング大会といったイベントの開催を予定しています。ホームページで情報を発信し
ていきますのでご覧ください。3年後の総会で会える日を楽しみにしています。/記T.N

3年ぶり!

第24回 こぶし会ゴルフ大会

令和4(2022)年

先着
60人

9月17日(土)開催 (スタート:午前9時4分)

石川県加賀市・片山津ゴルフ倶楽部

3年ぶりの開催となる第24回こぶし会ゴルフ大会が令和4(2022)年9月17日、石川県加賀市の片山津ゴルフ倶楽部で開催されます。ゴルフを通じて会員や学園関係者らが親睦を深めるイベントとなっており、一緒にプレーしてみませんか。

※詳しくはこぶし会事務局へお問い合わせください。

プレーしながら
会話も弾みますよ!



イベントの開催・中止は ウェブサイトで告知します。

こぶし祭、サマーセッション、全国一斉ボウリング大会、ホームカミングデーなど、コロナ禍の影響で開催が決定していないイベントがあります。開催の可否は、こぶし会ウェブサイトでお知らせしますので、チェックしてください。



こぶし会
ウェブサイト



団体・業者からのDMや 電話にご注意ください!

こぶし会では、団体・業者への名簿の提供および寄付や商売の斡旋は一切行っていません。もしも、自宅や勤務先などに業者等からダイレクトメール(DM)や電話があった場合には、金沢工科大学同窓会とは無関係ですのでご注意ください。

【金沢工業大学を卒業の皆様へ】各種証明書発行について

令和4(2022)年1月より、卒業証明書、修了証明書などの証明書がコンビニエンスストアでも受け取れるようになりました。コンビニエンスストアでお受け取りになれる証明書、発行手数料、卒業年度などにつきましては条件がございます。詳細につきましては、本学ウェブサイトでご確認ください。

●卒業生の方への各種証明書発行に関するご案内
<https://www.kanazawa-it.ac.jp/shoumei/>



こぶし会を日本一の同窓会組織に! 同窓会維持会費納入のご案内

こぶし会では、平成7(1995)年度より「同窓会維持会費」制度を導入し、**満40歳以上の会員に年額1,000円を納入していただいております。**78,000人を超える会員と各支部への活動支援、年2回の『会報こぶし』の発行など、同窓会活動の発展を図るために、ご理解とご協力をお願いします。対象となっている方には、払込取扱票を同封しています。

■会費の払込方法 郵便払込(3年分一括払い3,000円)
お近くの郵便局から同封の払込取扱票を利用して払い込んでください。住所等の訂正がございましたらインフォメーションカードにご記入の上ご返送ください。

対象者

- 保二会全会員
- 高専同窓会 令和5(2023)年3月末日で40歳以上の会員
- 大学同窓会 令和5(2023)年3月末日で40歳以上の会員

*会費の納入は80歳までとさせていただきます。
*令和元(2019)年度に3年分の同窓会維持会費の払い込みをされた方は、令和4(2022)年3月に期限が切れております。払込取扱票を同封させていただいた方はその該当者となりますので、払い込みくださいますようお願いいたします。

こぶし会
事務局

〒921-8501 石川県野々市市扇が丘7番1号 金沢工業大学内
TEL.076-294-6375(直) FAX.076-294-0886
Eメール.kobushi@kanazawa-it.ac.jp URL.<https://www.kobushi.jp>



QRコードで
ウェブサイト
をチェック!